

平成30年成人式 31名の新たな出発

1月7日(日)、コミュニティセンター「やまなみ」において平成30年成人式が挙行されました。天も祝福するような晴天、また、素晴らしい門出の一步の後押しをしてくれる追い風に包まれながら、対象の新成人31人全員が出席しました。参加者の目をくぎづけにする艶やかな振袖であったり、アレンジ袴で少し羽目を外してみたりと、新成人の皆さんは晴れの舞台を思い思いに楽しまれたようです。



式典では、足立村長をはじめ、ご来賓の方々からお祝いの言葉をいただき、村および選挙管理委員会から記念品が贈られました。最後に新成人を代表して眞下快成さん(大内沢)がお礼の言葉を述べ、新成人の皆さんの心境をつづりました。

平成が始まり30年が経過し、現在も休むことなく日本は発展し続けています。しかし、進めば進むほど、様々な問題が山積してきています。今後を担う立場の眞下さんは「これからの未来を担う大人として一人一人が社会の一員として自覚と責任を持ち、自分の進むべき道を切り開いていきます」と述べてくれました。10年先、50年先、100年先と、私たちが見られない未来に何を残してくれるのか。そこからまた、彼らの見られない2000年先、5000年先、10000年先の未来へと何を上げられるのか、期待でいっぱいです。その時は、私たちの生きていたあかしが少しでも続いていればいいと思います。

新成人お礼の言葉(抜粋) 眞下快成さん

今日は、成人を迎えた私たちのために村長をはじめ、ご来賓の方々からお祝いの言葉、ご教訓をいただき、そして今日この日まで私たちと向き合い、ご指導いただきました先生方、地域の皆さま、常に一番近くで支えてくれた家族に、本日、私達が無事成人を迎えられたことをご報告するとともに、新成人一同、感謝の気持ちをお伝えします。

私たちは、20歳という大きな節目を迎えましたが、社会人としてはまだまだ未熟です。また、すでに職業に従事している人や、学業に励んでいる人など様々です。今の日本社会は変化が激しく、若い私たちにとっては、とても厳しい環境の中にあります。しかし、成人として晴れの門出を迎えた今、これからの未来

を担う大人として一人一人が社会の一員として自覚と責任を持ち、自分の進むべき道を切り開いていきます。

この自然豊かな東秩父村で育った20年間には、数えきれない程の思い出が詰まっています。そして、ともに笑い、時に涙を流した仲間とともに今日という日を迎えました。

この愛に溢れたふるさとに恩返しができるように社会の一員として自立した生活を送れるように努め、周りから認められる大人になることを誓います。



▶お礼の言葉を述べる眞下快成さん



▶選管記念品を受ける青木玲里さん



▶村記念品を受ける関根陽斗さん